

第1回ワーキング会議

大江緑道などを活かす検討会 ～ 大江地区・西江地区 ～

『ワーキング会議』とは、地域のみなさまに集まっていただき、議題を決めて自由に意見を交換し、出てきた様々な意見を一つの考え方や方向にまとめていく場です。

10月16日（日）に開催した「公園を活かした地域づくりのシンポジウム」に続いて、大江緑道の整備や地域の魅力づくりを進めるために、ぜひともみなさまのご意見をお聞かせください。

シンポジウムに参加できなかった方も、ふるってご参加ください。

自由参加

開催日時：平成23年11月6日（日）

午後1時30分～約2時間（開場・受付開始 午後1時）

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター内

パークセンターホール（海津市海津町福江566）

議題①：大江緑道周辺の暮らしに係る地域資源の掘り起こし

議題②：大江緑道等の有効活用方策についての意見交換

【議題① 概要】

■輪中の形成や輪中の特徴となる資源などについて、情報提供をしていただきます。

情報提供『輪中の資源と活用について』：海津市歴史民俗資料館特別指導員 加藤和保氏

■あらかじめ作成した資源マップを見ていただき、マップに載っていない地域の資源^(※)や、『地域のここを見てもらいたい』というポイントについて、自由な意見をお出してください。（いくつかのグループに分かれて話し合っていた場合もあります。）

- (※) ・輪中での暮らしについて歴史的意味を持つ建物
・大江川をはじめとする地域の自然や景観
・見所 ・農産物、水産物 など

【議題② 概要】

■これから整備を進めていく大江緑道とその周辺について、地域の資源を活用し、『このような大江緑道にしたい』『大江緑道をこのように使いたい』というような、みなさまの自由な意見をお出してください。

- (例) ・舟運の活用 ・レンタサイクルの活用
・アクアワールド水郷パークセンターの活用
・堀田の再生、整備 ・義呂池のハスの活用 など

※第1回ワーキング会議で話し合われた様々な意見をもとに、第2回ワーキング会議で大江緑道の有効活用方策（素案）をまとめ、参加して頂いたみなさまと意見交換をして、より良い計画づくりに活用します。

〔シンポジウムで講演いただいた先生にも、アドバイザーとして参加していただく予定です。〕

～ プ ロ グ ラ ム ～

午後1時00分～：受付

午後1時30分～：開会、あいさつ、第1回ワーキング会議の進め方などについて説明

午後1時40分～：情報提供「(仮)輪中の資源」/海津市歴史民俗資料館特別指導員 加藤和保氏

午後2時00分～：意見交換

午後3時25分～：舟運等の社会実験、第2回ワーキング会議への参加呼びかけ

午後3時30分：閉会

【予告】 舟運等の社会実験のお知らせ

『アクアワールド水郷パークセンター』～『海津市歴史民俗資料館』間に2往復運航。

実施日時：11月20日(日) 8:00～16:30 (荒天時は翌週27日(日)に順延)

参加料：無料

【予告】 第2回大江緑道などを活かす検討会(ワーキング会議)のお知らせ

開催日時：12月10日(土)

午後1時30分～約2時間

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター

※詳しい日時や場所等については、決まり次第自治会などを通じてみなさまに連絡いたします。

【会議の年間予定】

- ・H23.10.16：シンポジウム
- ・H23.11.6：第1回ワーキング会議
- ・H23.12月上旬：第2回ワーキング会議
- ・H24.1月上旬：第1回本会議
- ・H24.2月上旬：第2回本会議



水屋・屋敷森などのある輪中の住宅



河川が氾濫した場所には神社を建てた



人々が水害時に避難した“助命壇”



金廻四間門樋(なまわりしけんもんひ)

アクアワールド水郷パークセンターの活動

- ・環境教育、セミナー・イベントなど、環境教育に関するさまざまな情報を提供しています。
- ・学校、子ども会、サークルなどで体験できる体験メニューや、NPOの団体による楽しい体験教室があります。
- ・春は芝生一面に咲く「日本タンポポ」、夏にはハスや絶滅危惧種のオニバスなどの水草の花を楽しめます。
- ・秋になると園内各所のモミジバフウの赤が水路に写り、各所が写真スポットになる紅葉の名所です。
- ・紅葉が終わり冬になると、とても面白い形をしたモミジバフウの実が落ち、リース作り、木の実の工作の素材にぴったりです。

～ワーキング会議会場へのアクセス～



※ 駐車場からパークセンターホールへは、徒歩約1分。



お問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課

〒511-0002 三重県桑名市大字福島 465 ☎0594-24-5719

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

地域づくりネットワーク会議 ニュース 第2号

『第1回ワーキング会議 大江緑道などを活かす検討会 ～ 大江地区・西江地区 ～』を開催しました！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される(仮称)大江緑道の魅力づくりの事業化方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

11月6日(日)に、(仮称)大江緑道の整備・運営、アクアワールド水郷パークセンターの改善方策などについて、地域のみなさんとの意見交換を行うためのワーキング会議を開催しましたので、その内容をお知らせします。

第1回ワーキング会議の概要

日 時：平成23年11月6日(日) 13:30～15:30
会 場：アクアワールド水郷パークセンター内パークセンターホール
参加者：地域にお住まいの方 約20名
主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
共 催：海津市



当日のプログラム

開 会

あいさつ

中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 田中副所長
国営木曾三川公園 (仮称)大江緑道の概要

情報提供

「輪中の資源と活用について」

/ 海津市歴史民俗資料館特別指導員 加藤和保氏

ワークショップ

大江川水面利用実態調査、第2回ワーキング会議への参加の
呼びかけ

閉 会



今後の会議等の予定

- ・H23年11月20日(日)：大江川水面利用実態調査
- ・H23年12月10日(土)：第2回ワーキング会議
- ・H24年1月上旬：第1回本会議
- ・H24年2月上旬：第2回本会議

(仮称)大江緑道の概要

木曾川下流河川事務所から、「(仮称)大江緑道の概要」として、公園基本計画の理念、計画経緯、計画概要等について説明しました。



情報提供『輪中の資源と活用について』 海津市歴史民俗資料館特別指導員 加藤和保氏

- ・全国の約6割の小学校で使用されている5年生の社会科の教科書では、高須輪中が「国土の地形の特色と人々の暮らし」の学習のモデルとなっていて、今、この地域は注目されているというお話がありました。

(学習の内容)

日本を代表する低地の一つ

水害をなくす努力(外水対策・内水対策)

豊かな水をくらし(農業、レジャー、食べ物)に生かす

- ・健康、癒し、学びをキーワードにして、歴史、自然、地域資源を生かした整備をして欲しいとのお話がありました。
- ・また、舟運の実施を検討するべきである。歴史民俗資料館以外で、堀田を復元できるのであれば、ぜひ実現してほしい。親子で田植えや、収穫などを体験してもらいたいとのお話もありました。



ワークショップ

滋賀県立大学森川先生の進行のもと、2班に分かれて、ワークショップを実施しました。各班では、QAマップの質問事項などについて、参加のみなさまを中心に熱心な議論が行われました。

<QAマップ>

- ・森下排水機場周辺、前川池周辺、大江川上流(石亀橋～万寿橋)、水郷パークセンター周辺、大江川下流(万寿橋～大江樋門)のゾーンごと、及び周辺の資源や利用の仕方について質問を行い、みなさまの意見を伺いました。

【質問事項の例】

- ・水郷パークセンターの義呂池は、きれいな花の咲く立派な蓮池です。蓮の活用をしませんか？
- ・来訪者の散策の他、住民の健康づくりにも楽しく利用できる緑道にしたいと思います。どんな施設や機能があれば良いですか？

今後、今回のワークショップでの意見などをふまえ、「地域づくりネットワーク会議」の場で、大江緑道等の有効活用方策(案)を地域のみなさまととりまとめていきます。

第1班



第2班



第1班



第2班



会議等への参加の呼びかけ

11月20日(日)に実施予定の「大江川水面利用実態調査」、12月10日(土)に開催予定の「第2回ワーキング会議」への参加の呼びかけを行いました。